

お疲れ様でした。グループで話し全体でシェアをして、40名分の笑いがすべてのテーブルに  
集まりました。今回は、みなさんのアイデアをふまえて、「実際どうなのか」を土地或の方たちの  
声を聴いて、さらに具体的な場づくりを考えていきます。ハード面も少しずつ決めていきます。



次回は/  
11/2 (火)  
18:30~  
場所などは  
後日お知らせ

土地或のひとと関わって、共有できる **みんなの場**。そして、自分の知識が役に立ち、将来を見つめるわたしの居場所。

自分の知識でひとが喜ぶ場

**解決アイデア**  
学校に行きづらい児童、生徒が  
安心して交流できる場

平日の  
バス  
来れる

サトル園、  
女子生など  
交流できる

先生や  
カウンセラー  
相談できる

**解決アイデア**  
遊びの中で学ぶ、教員と  
児童保育の場

送迎バス  
いける

遊具道具が  
豊富で  
好きになれる

自分で  
学ぶことに  
興味がある

次回に聴きたい  
小中学生の学区外の  
交流機会が少ない  
移動手段がない  
学校で学ぶための  
しんどさ  
不登校児の居場所  
土地或の課題

次回に聴きたい  
子どもに年が近い  
バスに乗れない  
ホッとするに積極的  
大学に行きやすい  
専門知識がある  
(学んでいる)

学びを通じて多世代交流ができる  
交流を通じて学生が学ぶ  
教員と会いたい  
なぜこのテーマ??

子どもの居場所づくりに関心あり  
大学生の知識、経験で役立てたい  
保育、福祉、看護の系属をどうするか  
なぜこのテーマ??

一人で食べずに、みんなでおしゃべりする場

**解決アイデア**  
仲間と食べた  
はじめてのひとと食べたりできる場

車いすは  
登り下り  
有るかも

キッチンで  
新見の食料を  
楽しめる

先生と  
子どもと  
遊べる

**解決アイデア**  
勉強と食事ができる場

共同キッチン  
土地或のひと  
が食べたい

マルシェで  
新鮮なお肉  
食材が買える

カフェや  
しずかな場所  
選べる

次回に聴きたい  
新しい発見を知りたい  
栄養バランスが偏る  
食事にならないうつ  
1人で食べる  
子ども、学生、高齢者

次回に聴きたい  
専門書以外の本を  
読むのが図書館で遠い  
バランスの食事はない  
バス電車の待ち時間が  
長い時間がある

食は全世代共通の楽しみ  
食はひとと笑顔にする  
言葉でこぼれ話をしたい  
なぜこのテーマ??

勉強ができるカフェがいい  
大学生が行きやすいおしゃべり場がある  
放課後集まる場所がほしい  
なぜこのテーマ??

今まで難しかったことが、少し楽になる場

**解決アイデア**  
日替わりの学べる遊べる場

天然芝  
床暖房  
はだし通洋

趣味別の  
イベントを  
スケジュール

市外のひとが  
新見のお土産  
体験できる

**解決アイデア**  
趣味の知識で活躍し、  
子どもが感動する場

アットな  
食屋、スポーツ  
ができる

イットな  
音楽、映画、4  
が楽しめる

大人が活躍し、  
子どもが感動  
できる場

次回に聴きたい  
保育の専門知識  
遊びの学びを  
伝えている知識  
様々な生活をして  
いる学生がいる  
(本、ガス、映画、音楽)

次回に聴きたい  
文化や経済を遊ばせる  
学べる場が少ない  
一人暮らし、子育て  
に忙しい場が少ない  
遊ぶ場所が少ない

趣味は世代をこえて交流できる  
好きなこと交流したい  
市民のよさをのびるような場を  
なぜこのテーマ??

趣味、得意なことで楽しめた  
生活資金を稼げる場を  
食文化で大人が活躍できる場を  
なぜこのテーマ??

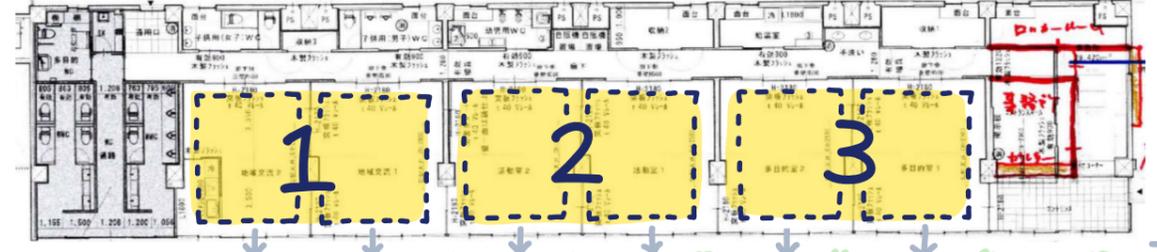
関心テーマ  
学び  
グループ

関心テーマ  
食  
グループ

関心テーマ  
趣味  
グループ

学生寮側からの入口

場づくりのアイデアを考えるのは  
大きく3ブロック  
(2部屋で1ブロック)



- 1ブロックは、教室前の外観の登壇障子の積重ね、不登校児、せせら、育児相談のスペースとして活用予定(4F)
- 2つの部屋の間に仕切りは可動式なので、活用に合わせて広くも、分けても使えます。
- 現場は現在進行形。時間の制約あり。アイデアを練る順序は適宜時間確保が必要になってきます。(ex. 室内は土足?はだし?水場は?トイレは?)

新見駅まで  
徒歩3分  
入口  
芝生広場



グループ  
サポーター  
にいみずのおもてなし会  
西川陽子  
全体  
サポーター  
副代表 吉良宏子

森のゆらゆらなどで、大学や学生と  
関わっています。また代表が不在ですが  
前回の様子を見て、今日も楽しませよう!!  
様子を見て  
はじめて前に  
のびました!!  
代表  
藤本忠男

40名近くの学生と教職員が集まりました。  
改めて必要をお伝えします。活用方法を議論してもらい  
ますが、目指す姿は、共有意識しながら楽しんで下さい。  
新見公立大学  
学長 公女谷巴 先生

このプロジェクトの目指す姿  
土地或共生推進センターの街中交流棟  
子ども中心の  
多世代交流広場

和野田の事務所  
CEO 和野田優太郎

自己紹介  
テーマを  
進める  
理由  
必要は  
あるか?  
LIFEを  
描いて  
共有  
全体  
共有  
共有  
共有

ホロボットの  
対話の可視化を  
つづけています  
教育・研究者  
北浦 菜穂

写真  
小道具を  
準備して  
楽しもう!!  
和野田の事務所  
原 裕里香